

目 標

- (1) 現代社会に広まる危険薬物に関する知識を学び、その危険性を理解し、薬物には関わらないという意識・態度を育てる。
- (2) 現在及び将来に直面するかもしれない防犯上の課題に対して、的確な思考・判断に基づく適切な意志決定や行動を選択できる生徒を育てる。

10月11日(水)は多くの生徒にとって4日ぶりの登校でした。本日、6校時に体育館にて**薬物乱用防止教室**を実施しました。今回は東京から講師を迎え、動画やパンフレットを使いながら50分の講義を行っていただきました。

「今朝『**学校に行きたくないなあ**』と思った人は手を挙げて下さい。」講師の方の質問に、30～40名あまりの手が元気に(?)挙がりました。「行きたくないと思った生徒の皆さんが今こうして学校に来ていることは、皆さんが**選択**した結果の1つです。」「このように、生きる上でたくさんの**選択**の機会があり、そこでの**選択**が今後の皆さんの生き方を左右していきます。今回お話しする『**薬物乱用防止**』についても、皆さんが正しい**選択**をしていくことが重要です。」というお話から講義が始まりました。

薬物とはどんなものがあるか、なぜ薬物が危険なのか、薬物から自分を守るためにどうすれば良いかなどについて動画や質問を交えて分かりやすく教えて頂きました。日本はもとよりアメリカ勤務などでの経験豊かなエピソードを交えながら「軽い気持ちで始めたことが、初めの**選択**で間違ってしまい、取り返しのつかないことになる。薬物によっては一生完治せずに苦しむことになる。」と正しい**選択**の重要性を説いてくれました。また、「**正しい選択するためには、誰かに相談することとても重要。**」ともお話いただきました。お忙しい中、北海道まで来てくださり、豊富な経験からとても分かりやすい講義をしていただきありがとうございました。



生徒会長から「お礼の言葉」



講義の終わりにアンケート記入